

住民から広がる母子保健活動 ～ケニア・ケリチョー県の事例から～

2012年 4月21日 (土) 14:00～16:00

会場：女性就業支援センター 4F 第1セミナー室

参加費：500円 (会場代) ※HANDS会員無料

定員
50名

HANDSが2005年からケニア・ケリチョー県で母子保健活動を開始して7年。その一環である母乳育児推進プロジェクトが、この1月に終了しました。乳幼児死亡率が高いケニアでは、栄養不良を防ぐ一つの方法として完全母乳育児が推奨されています。

プロジェクト開始当初はわずか5%だった完全母乳育児（生後6ヵ月間母乳のみで育てる）率は、終了時には35%に上昇（当団体調査）。薬草や不衛生な水を与える習慣や、農作業などの忙しさが理由で母乳育児を続けることが難しかったお母さんたちに変化が表れるようになりました。その原動力となったのが、住民たち自身による活動でした。住民が主体となって、保健スタッフたちと協力して地域社会に働きかけ、お母さんだけでなく、父親や姑世代の意識をも変えていったのです。

住民たちはどのように活動をすすめ、どんな成果を生み出したのか。成功の要因や、現場で直面した課題を含め、現地駐在スタッフがありのままにお話しします。



申込

www.hands.or.jp

特定非営利活動法人HANDS (担当：奥田・内田)
東京都文京区本郷3-20-7 山の手ビル2階
TEL：03-5805-8565
Email: handssem9@hands.or.jp

◆プログラム

- 14:00~14:10 挨拶・HANDS 紹介
- 14:10~14:50 第1部 活動報告（濱谷美代）
- 14:50~15:00 休憩
- 15:00~16:00 第2部 質疑応答

会場では、ケニア・ケリチョー
県の美味しい紅茶の試飲や活動
写真の展示を行います。
どうぞお楽しみください！

◆スピーカー



濱谷 美代（HANDS ケニア担当プロジェクト・マネージャー）

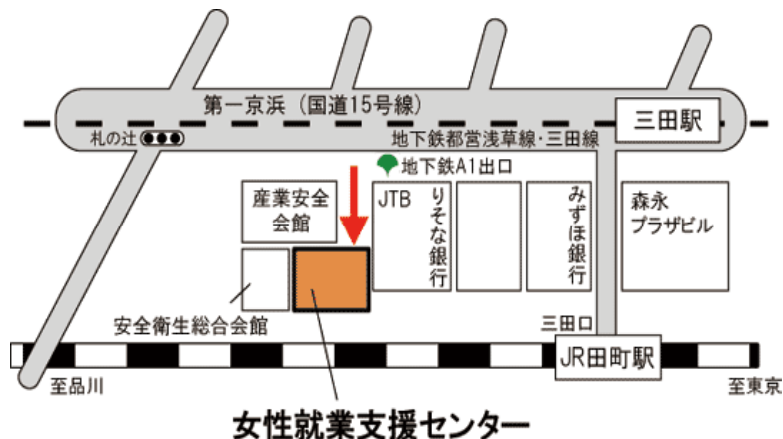
津田塾大学国際関係学科卒業。イースト・アングリア大学大学院（イギリス）教育・開発学修士。在エチオピア日本大使館にて、現地NGOによる教育、医療プロジェクトの支援に関わる。2010年HANDS入職。2010年7月～2011年3月、プロジェクト・コーディネーターとしてケニア・ケリチョー県に赴任。2011年4月よりプロジェクト・マネージャーに就任、現在に至る。

女性就業支援センター

東京都港区芝5-35-3

JR田町駅三田口（西口）から徒歩3分、

都営浅草線、都営三田線 三田駅 A1出口から徒歩1分



申込

www.hands.or.jp

特定非営利活動法人HANDS

（担当：奥田・内田）

Email: handssem9@hands.or.jp

